

労働者から労働者へ		労働者通信	発行 「労働者通信」編集委員会 東京都台東区小島 1 - 8 - 7 TEL / FAX (03) 3863 - 3433 大阪市淀川区十三東 3 - 1 6 - 1 2 TEL / FAX (06) 6303 - 0449
N0.393	2025 5.10		購読料 1部50円 年間1600円(送料込) 振替口座 00120-8-586442

日本による沖縄再併合反対―琉球・沖縄人民の自決権支持

6月天皇訪沖阻止！

大衆的直接行動で戦争を止めよう

反戦反天皇制労働者ネットワーク

琉球・沖縄―日本民衆交流会は、2013年糸満で開催された天皇出席の「豊かな海づくり大会」反対闘争を契機に、5月15日の「日本による沖縄再併合反対―琉球・沖縄人民の自決権支持」闘争の一環として開催し、今年で12回目を迎えます。一方、天皇制日本国家・独占資本は、今年を「敗戦80年」「昭和100年」として、天皇制を対中国戦争に向けて国民統合の要として押し出しを強めています。

今年3月24日、日本政府・防衛省は、陸海空自衛隊(全国22万余の隊員)を一元的に指揮し、米軍と連携して作戦を遂行する自衛隊「統合戦司令部」を創設しました。硫黄島ではその5日後、日米合同戦没者慰霊追悼顕彰式がおこなわれ、翌日の日米防衛相会談では日米同盟のさらなる強化が合意されました。その直後の4月7日、ナルヒト天皇が硫黄島を「慰霊訪問」しました。そもそも日米軍事同盟と天皇制は、敗戦後の国家支配の根幹を占め、天皇の硫黄島訪問はまさにそれをうち固めるものでした。今後天皇は、5月埼玉・秩父植樹祭、6月沖縄、広島・7月モンゴル、9月長崎・国民文化祭等々各地を

まわります。天皇の元首化と国民統合を強め、中国・朝鮮民主主義人民共和国に対する敵視、排外主義を一層あおるものです。とりわけ6月の沖縄訪問は、琉球・沖縄を対中国戦争の最前線に位置づけ、奄美諸島から与那国島にかけて琉球弧を再び戦場とする日米両帝国主義の戦争策動の一環であり断じて許すことはできません。

最も深く皇民化された私たちヤマトの労働者・人民は、天皇制国家の植民地主義を今日まで支えてきた痛苦な歴史をとらえかえし、琉球・沖縄差別、抑圧、支配の元凶である天皇制の廃絶に向け闘うこと、日米安保・地位協定撤廃の運動をやマトで作りに出すことが迫られています。米軍事支配の時期から、「復帰」―再併合以降一貫して琉球弧で闘われている大衆の実力闘争による反戦・反基地闘争に匹敵する闘いをヤマトで作らねばなりません。

5月17日の「民衆交流会」では琉球弧各地の闘いの報告を受け、ヤマト天皇制国家との闘いにむけて議論を深めたいと思います。みなさんのご参加を呼びかけます。

(2025年4月21日)

- 集会案内
- ### 「5・15 復帰」を問う沖縄行動の案内
- ◇5・15 再併合 53 年弾劾「日本復帰」を問う国際通り道じゅねー5・15 再併合 53 年弾劾
日米による琉球弧の戦場化を許すな 天皇は沖縄に来るな
*日時／5月15日(木)午後6時 6時45分デモ出発、県庁前まで
*場所／牧志公園
*主催／「5・15 復帰」を問う沖縄行動
 - ◇5・16 浦添新軍港建設阻止集会・デモ
*日時／5月16日(金)午後1時30分 デモ出発午後2時10分
*場所／泉小公園
*主催／軍港反対！浦添市民行動
 - ◇琉球弧を再び戦場にするな！ 天皇は来るな！
「5・15」復帰 53 年を問う！ 5・16 脱植民地化沖縄集会
*日時／5月16日(金)午後6時～8時30分
*場所／浦添社会福祉センター中ホール
*発題／高良沙哉(さちか)さん(沖縄大学教員)
「終わらない米軍の性暴力」
*発言／宇佐照代さん(アイヌ文化伝承者)、奥間政則さん(沖縄ドローンプロジェクト)、清水早子さん(ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会)、照屋寛之さん(うるま市島ぐるみ共同代表)、上原正光さん(基地いらないチーム石垣)
*主催／「5・15 復帰」を問う沖縄行動
*参加費／1000 円 高校生以下無料。経済的に厳しい方は受付まで
 - ◇5・18 第 24 回南と北を結ぶ「南北之塔」イチャルパ
*日時／5月18日(日)正午開始
*場所／南北之塔前
*イチャルパ 宇佐照代さん
*主催／アイヌ民族と連帯するウルマの会(代表・まよなかしんや)
共催／「北方領土の日」反対！「アイヌ新法」実現！全国実行委員会(略称・ピリカ全国実)



2022 年 5 月浦添キャンプキンザーデモ

「5・15 復帰」を問う沖縄行動に賛同カンパをお願いします
*個人・団体とも1口1000円
*振込：ゆうちょ銀行 記号17070 番号15042341
*他の金融機関からの振り込み受け取り口座として利用される際は
店名708(読みナナゼロハチ) 店番 708普通預金
口座番号1504234 口座名称「5・15」復帰を問う沖縄行動
連絡先／090-8356-3253(川越弘)

『時の壁』に逃げた司法―これは2025年1月28日の朝日新聞社説の見出し、本文は「問題の本質から目をそらした判決」とこまで言い切るのは、1月17日に「ノー！ハブサ」第2次訴訟判決だ。最高裁第二小法廷は、原告の父親は1959年までに合祀されており、被害の発生から20年を経過しているから賠償請求権が消滅していると民法の「除斥期間」により訴えを退けた▼「ノー！ハブサ」訴訟とは、植民地下の朝鮮で大日本帝国軍(皇軍)に徴兵・徴用され戦死・戦病死し、戦後、植民地下で強制された日本名で祭神とされ、「英霊」として靖国神社に合祀されている朝鮮人軍人軍属の遺族らが、靖国神社に合祀下げを、日本政府に靖国神社に戦没者情報を提供した損害賠償請求だ。朝鮮人遺族による合祀取消し訴訟は、2001年以来、今回の第2次訴訟まで4半世紀に及ぶ。最高裁はそのいずれも訴えを退けてきた▼今回は三浦守裁判官が反対意見をつけた。靖国神社の宗教行為である合祀に不可欠な戦死者に関する情報提供は、国に「いかなる宗教的活動もしてはならない」と命じた現憲法違反との疑義は当然で、高裁では検討が尽くされていないと指摘。遺族が合祀を知ったのは近年になってからだ。除斥期間が経過したかどうかの検討が必要だと高裁に差し戻せとした▼訴えに向き合えば当然の判断だが、これとても朝鮮人遺族の粘り強い闘いによって勝ち取られたことを、日本の主権者である私たちは深く考えなければならない。靖国問題は私たちが解決しなければならぬ課題だ。

「文明」の名による暴力を許すな！ 大阪・関西万博反対！行動報告



実行委員会は昨年8月に立ち上げられ、会議にあわせ、駅前でアピール行動やビラ配布を重ねてきました。また昨年10月の集会で神戸大学の原口剛さんに「万博は帝国主義と植民地主義の原点」と題する講演をいただきました。万博をはじめとした大型イベントは帝国主義・植民地主義の問題にとどまらずジェントリフィケーション、言い換えれば、富裕層優遇政策の中で貧困層の排除を続けてきたことが明らかにされたのです。それは今回の大阪・関西万博にあわせて、あいりん総合センターの解体が警察の暴力によりなされたことも不可分の問題です。なお当日の集会においても、公園の使用許可において、「騒音対策にかかる誓約書」として音量測定と「違反」「虚偽報告」という誓約書を出させた状況があります。法律によらずおこなわれたこの公園管理は民主的集会を委縮させる危険な問題です。今回は誓約書を撤回

4月12日、天皇参加のもとにおこなわれた大阪・関西万博開会式にあわせ、「文明」の名による暴力を許すな！大阪・関西万博反対！実行委員会は、扇町公園での集会と梅田までのデモ、大阪駅前アピールをよびかけ実施しました。

3月20日には第5回内国勸業博覧会と拓殖博覧会の跡地である天王寺公園で集会をおこないました。人類館事件はよく知られてきていますが、拓殖博覧会でも先住民族「展示」が「新領土土人」としておこなわれました。まさしく侵略と植民地化を誇るための博覧会でした。北大文学部人骨事件で明らかになったのは強制収容所である「オタスの杜」が先住民族展示の観光地化がされた事実です。そこからウィルタ民族が連れてこられ、「展示」された可能性があります。そのことが問題化できてこなかったことに反省を感じています。



天王寺公園集会後のデモでは、あいりん総合セ

シリーズ聞き語り

「戦時下」の宮古島から

連載第2回

自らの歩みを振り返りつつ状況を語る

② 清水早子さん

人生の歩みには節目と
言うか、転機というものが
幾度かあります。幼い
時の体験は最初の「原点」
になっていったのかと後に
振り返って思い至ります
が、中高校生くらいにな
るとそれは意識して自ら
選択する「原点」となり
ます。

3月20日には第5回内
国勸業博覧会と拓殖博覧
会の跡地である天王寺公
園で集会をおこないまし
た。人類館事件はよく知
られてきていますが、拓
殖博覧会でも先住民族「展
示」が「新領土土人」と
しておこなわれました。

私たちのテーマに沿う
歴史を問う場所である
デモをおこなえたことの
意義は大きかったと思
います。

なお大阪商工会議所は
第5回内国勸業博覧会、
拓殖博覧会の誘致・開催
に重要な役割を果たし
ました。それは1970年
万博も、今回の大阪・関
西万博も同じです（付
加えて、大和ハウスは大
阪商工会議所の中心企業
です）。帝国主義・植民地
主義は、資本主義の発展
と一体の問題であること
を示しています。政治・
経済界が一体となり、帝
国主義・植民地主義を維
持しようとおこなってい
る「国威発揚」イベント
が万博の本質ではないで
しょうか。

反万博は大阪・関西万

1962年の10月の
キューバ危機を伝えるラ
ジオの前で、この2年後
の東京オリンピックの際
は釜ヶ崎の我が家にもテ
レビが登場していたので
この時はラジオだったの
か、私はニュースに聞き
入り「戦争になるのかも
しれない」と危機感に襲
われたことを覚えていま
す。老境に入っても忘れ
ない恐怖と危機感を思い
起こすと、この今日の「戦
争前夜」の空気感に漠然
と恐ろしいものを感じて
いる中高生がいても当然
なのだと思います。そう
考えると私たちは子ども
たちとまったく真剣に向
合わなければなりません。

私のその危機感は、やが
て反戦の意思となり、ベ
トナム反戦運動へ、60年
代後半の安保闘争へ、大
学闘争、沖縄闘争へと繋
がっていきました。

さて、その30年後に私
は沖縄県宮古島へ就労し、
その後30年の歳月をほと
んどこの島で反戦反基地
運動に関わって現在に至
ります。

宮古島現況報告

2025年今年に入っ
てなお、宮古島の軍事強
化の動向は収まりません。
2月1日、宮古島西部の
歴史の古い集落の漁港で
「防災訓練」を口実に自衛
隊車両や隊員が配置され、
事実上の軍事訓練が実施
されました。

私たちは女性3名でプ
ラカードとハンドマイク
を持って抗議しました。
「これは防災という名の軍
事訓練だ！」と。

そして、24年度中には
配備予定となっていた「電
子戦部隊」。電子戦施設の
建設着工が3月内には始
まるだろうと踏んで、そ
の動きがあれば島内外に
抗議行動を呼びかけよう
と考えていた矢先、2月
19日に「2月26日電子戦
車両を平良港に搬入」と
の発表がありました。施

博の批判にとどまってい
てはいけません。万博自
体が帝国主義・植民地主
義のもとに続けられてき
て、今なお続いているこ
とを問題にしなくては
なりません。また皇紀
2600年記念万博が計
画されたように天皇制と
万博は切っても切れない
関係にあります。そして

（木村敬／ピリカ全国実・
関西）



建設も始まっているに
のに「電子戦配備の既成
事実」を作ろうと言う防
衛省のいつものやり口で
す。一週間しかないので、
私たちは懸命に抗議行動
を準備しました。

2016年から導入され
たマイナンバー制度と並
んで、個人の監視や分断
を生み弾圧のための法整
備が整えられています。

当日は島内外、沖縄島
や大阪、東京、福岡など
からの応援を得て早朝か
ら港に結集した約40名。
そのうち、半数はスクラ
ムを組み電子戦車両や軍
用車両の前に寝転んで阻
止行動をおこないました
（写真）。港の2か所のゲ
ートで、駐屯地のゲートや
路上で、私たちは分散し
て、警察官に排除される
まで果敢に非暴力不服従
の抵抗を数時間に亘り展
開しました。

大会への宮古島駐屯地の
支援活動は、彼らのPR
が目的の公務であること
が自衛隊内部通達の開示
文書で明らかになりました。
4月20日、今年のトラ
イアスロン大会会場前
や、平良港に入港した海
自の掃海艇一般公開にも、
私たちは抗議の行動をお
こないました。このよう
に住民生活の中にも迷彩
色が入り込み、戦争前夜
の「翼賛体制」を作り出
されてしまうことにも、
私たちは逐一抵抗しなけ
ればなりません。

お詫びと訂正

392号2面「第26回
『北方領土の日』を考え
る企画（沖縄）」の14行
目「明治2年」は「5年」、
19行目「北海道地所規定」
は「北海道地所規則」に
訂正し、お詫びします。